

議 事 録

		作成	馬淵さち子	承認	
会議名	一宮パブリック・サービス・アカデミー（一宮自治研究会）第三回会合				
日 時	平成 19 年 3 月 2 5 日（日） 13:30～17:00	場所	一宮町公民館 生活研修室		
出席者	発表者：藤乗一由・馬淵さち子 司会：齋藤繁美 参加者計：26名				
配布資料	①三谷宏氏提供「地方自治体財政の新指標に関する新聞記事」 ②馬淵さち子作成「一宮町の経年的な財政変動と類似団体との比較」 ③藤乗一由作成「第二回長生郡市合併協議会会議録より（平成 18 年 11 月 30 日実施）」 ④一宮パブリック・サービス・アカデミー規約（案）」				
内 容				備 考	
<p><研究報告></p> <p>（1）一宮町の経年的財政変動と類似団体との比較－馬淵さち子</p> <p>（2）茂原市の債務について（合併準備会での県担当者の説明をもとにして） －藤乗一由</p> <p><世話人会よりの報告・提案事項></p> <p>（1）会の名称について</p> <p>（2）規約案について</p> <p>（3）商工会との協力関係について</p> <p>（4）合併に関するシンポジウム開催について</p> <p>（5）今後の会の進め方について</p> <p>（6）その他</p> <p><研究報告の前に></p> <p>・当会の活動基本方針・考え方について（世話人副代表・藤乗一由）</p> <p>自然や歴史に裏打ちされた暖かい、誇りとすべき、愛する一宮を守り活かしていきたいという気持ちを根底にもち、一宮のあるべき、ゆくべき姿を探していきたい。そのために、多くの方から意見をいただき、試行錯誤を繰り返すなかでよりよい一宮の未来を形づくっていきたい。当面は、町の現状や合併の実際を知る上で、数字やデータを追っていく作業が必要になり、こうした本来の大局的な意図が見えにくくなることもあるかと思う。そうした時には互いに手綱を引き締め、住む者が大切に誇りに思える一宮作りの原点に立ち返って考えていきたい。</p> <p><研究報告></p> <p>（1）一宮町の経年的財政変動と類似団体との比較－馬淵さち子</p>					
				資料①②参照	

<質問・意見> (応答はすべて馬淵さち子)

・一宮の経年的財政変動を見ると、他の類似団体に比べ一部問題とすべき個所もあるが、おおむね良好であることがわかった。町の行政の今までのあり方について、批判するむきもあるが、こうしたデータを見るとやはり一定の評価をすることができるだろう。(板倉正氏)

・一宮と同じ市町村類型の大多喜町の「実質公債費比率」の数値が非常に良い値であることの要因は何か？(黒川明男氏)

↓

大多喜町に関しては、財政分析を未だ行っていないので、今後の研究課題にしたい。

・一宮町の債務負担行為支出予定額が、1991年に非常に高額になっている原因は何か？(黒川明男氏)

↓

一宮町の企画財政課の方から、当該年には県の遊休地を買い上げる必要が生じ、多額の債務負担行為が計上されたと伺った。しかし、実際の数値・データに当たったわけではないので、確実な返答は今のところできない。

・経常収支比率が近年悪化している要因は何か？(黒川明男氏)

↓

経常収支比率の値が最も良い1990年と2004年を比較すると、経常収支比率を押し上げている要因には、物件費・人件費・補助費などが挙げられるだろう。

・その他、「臨時財政対策債」について(岡崎巖氏)、2005年に経常収支比率が下がっていることについて(馬淵昌也)などの意見や質問があった。

(2) 茂原市の債務について(合併準備会での県担当者の説明をもとにして)

一藤乗一由

<質問・意見>

・千葉県の説明では、合併した際の一人当たりの債務負担高が合併の障害にならない程度のものだとしているが、本当にそうなのかどうか十分考える問題だと思う。また、前回の合併の際の法定協議会で提出された土地開発公社の債務償還計画は、すでに平成16年に時点で計画額の約3分の1しか実績を上げていないなどの問題があり、このままうやむやな形で合併に進んでよいのか疑問である。更なる検討が必要だろう。(朝比奈時子氏)

・一宮の債務に関しては、一宮町民はそれなりの利益を得たものであるが、茂原の莫大な借金に関しては、茂原以外の住民は全く何の恩恵も受けていないものである。なぜに他町村の住民が肩代わりをしなければいけないのか。更に茂原の借金について考えていかなければいけない。(三谷宏氏)

資料③参照

↓

今後、茂原市の債務や一部事務組合の状況なども研究班を組織するなどして、十分な分析を行い、専門家の方にも目を通してもらった上で、報告していきたい。(馬淵昌也)

<世話人会よりの報告・提案事項>

(1) 会の名称について

今回の会に先立って今までご参加くださった方々より、名称案を頂戴した。それらをもとにして、世話人会で議した結果、「一宮パブリック・サービス・アカデミー(一宮自治研究会)」を当会の名称にすることとし、出席の皆さんに諮った結果、承認を受けた。

(2) 規約案について

世話人会で討議した規約案を参加者の方々に検討していただき、今後会員登録などを行ってきたい。

(3) 商工会との協力関係について

町づくりに関して、世話人代表・馬淵昌也らが個人的に商工会の方々とお話したところ、当会の趣旨に賛同いただき、理事会に諮って当会の資料や入会申し込み書を商工会に入会している商店に置いていただけることとなった。

(4) 合併に関するシンポジウム開催に関して

第二回会合で報告した当会が企画した合併について町長から意見を伺う会に関連して、林一雄氏(一宮町在住)より今後当会で合併に関するシンポジウムを開催して欲しい旨の申し入れがあった。当会は、未だ規約も決定せず会員登録も済んでいない状況なので、すぐにこれを企画することはできないが、これから、本格的に合併に関する協議が進んでいくなかで、状況を見極めつつこうした問題にも取り組んでいきたい。

(5) 今後の会の進め方

茂原市・広域の一部事務組合・茂原の土地開発公社の財政状況などを、研究班などを組織して分析・研究していく。

<意見・質問>

・第二回会合において、この会は「一宮町の明日を考える住民の会」とは独立した団体として活動することを決定したが、住民運動の力が分散してしまう危険性を感じている。一つの団体でまとまって活動していくべきではないか。(黒川明男氏)

↓

今後、規約も決定し本格的に活動していくので、その状況を見守って欲しい。また、規約案のなかにも、「この会の目的に賛同・協力を得られる他団体との提携・交流」の一文を入れてあるので、共に連携していきたい。(世話人会)

<次回の会合の日程>

日時：4月8日(日)

場所：一宮町公民館 生活研修室

議題：規約案について

以上

資料④参照

